

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-170255

(43)公開日 平成6年(1994)6月21日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 0 2 B 7/00	1 0 5	6525-4D		
3/10		6953-4D		

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21)出願番号 特願平4-350860

(22)出願日 平成4年(1992)12月5日

(71)出願人 000130617

株式会社サトー医研

東京都中央区入船1丁目2番8号 サンバ
ーク東京銀座705号

(72)発明者 佐藤 静夫

東京都中央区入船1丁目2番8号 サンバ
ーク東京銀座705号 株式会社サトー医研
内

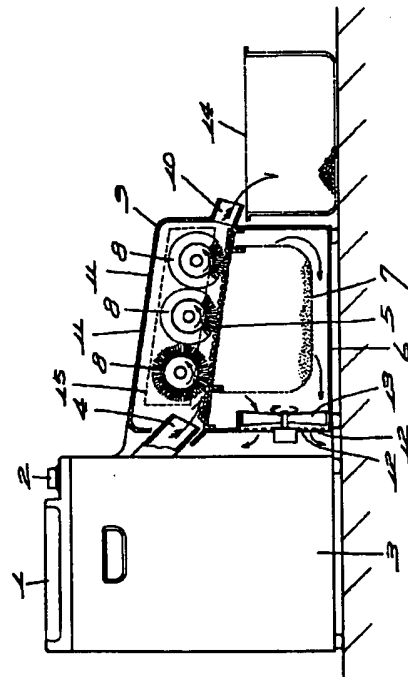
(74)代理人 弁理士 杉山 泰三

(54)【発明の名称】 家庭用精米器

(57)【要約】

【目的】 水でとがずにそのまま炊飯できる状態の米を得るための家庭用精米器を提供する。

【構成】 家庭用精米器本体と、当該本体における精米済み米の出口に設けたふるい上物を米としぬかをふるい下物として分けるふるいアミと、ふるいアミの下面に設けたふるい下物受と、ふるいアミの下流端に対応する配置で設けたふるい上物出口と、ふるいアミの上面に設けた払拭用ブラシと、ふるいアミの目を介して当該ふるいアミの上側の空気を同ふるいアミの下側に引く風力装置とを備えたものである。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 家庭用精米器本体と、当該本体における精米済み米の出口に設けたふるい上物を米としぬかをふるい下物として分けるふるいアミと、ふるいアミの下面に設けたふるい下物受と、ふるいアミの下流端に対応する配置で設けたふるい上物出口と、ふるいアミの上面に設けた払拭用ブラシと、ふるいアミの目を介して当該ふるいアミの上側の空気を同ふるいアミの下側に引く風力装置とを備えたことを特徴とする家庭用精米器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、毎食必要な量ずつ精米できる家庭用精米器に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来の家庭用精米器によって精米された米は、水でといでから炊飯に供していた。ところが最近、とぎ汁が下水汚染の問題となって来ている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は、水でとがずにそのまま炊飯できる状態の米を得るための新規の家庭用精米器を提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するために本発明に係わる家庭用精米器は、家庭用精米器本体と、当該本体における精米済み米の出口に設けたふるい上物を米としぬかをふるい下物として分けるふるいアミと、ふるいアミの下面に設けたふるい下物受と、ふるいアミの下流端に対応する配置で設けたふるい上物出口と、ふるいアミの上面に設けた払拭用ブラシと、ふるいアミの目を介して当該ふるいアミの上側の空気を同ふるいアミの下側に引く風力装置とを備えたものである。

【0005】

【作用】 本発明は上記のような構成であるので、家庭用精米器本体から出た精米された米は、ふるいアミの上に落ち、同ふるいアミの上面を滑落する。この滑落の途中でぬかは目から下のふるい下物受に落ちると共に米粒の表面に付着している微粉末（細いぬか分および細い白い粉）は払拭用ブラシによる米粒の回転および風力装置による引き等により米粒から除去され、ふるいアミの目を介してふるい下物受内に落ちて溜る。このようにしてぬか及び微粉末が95%～90%ぐらいまで除去された清浄米粒（白米）はふるい上物出口から同口の下に配置された電気炊飯器の中釜14の中に落ちる。

【0006】

【発明の効果】 本発明に係わる家庭用精米器は、これによるとときには上記作用において述べたように微粉末まで除去された清浄米粒（清浄白米）を得ることができるようになる。当該清浄米粒は全く洗わない（勿論、気になる人は軽く洗い流してもよい）で炊飯に供するもとがで

きる。このように全く米を洗わないで炊飯が可能になるので、とぎ汁による下水汚染問題の解消に本発明に係わる家庭用精米器は大いに役立って有効であり、また米をとぐことを面倒がる人には便利である。

【0007】

【実施例】 図に示す実施例は、ホッパ部1に玄米を入れて精米度ダイヤル2をセットしたのちにスイッチ（図示せず）をオンとしたときに、内部で玄米と玄米が摩擦してぬか層を少しずつ剥きとって行く方式の家庭用精米器本体3を構成し、この家庭用精米器本体3における精米済み米の出口4の下にふるい上物を清浄米粒としぬかをふるい下物として分けるふるいアミ5を下箱6を介して設け、このふるいアミ5の下面に布袋製のふるい下物受7を着脱可能として設け、またふるいアミ5の上面に電動装置15により作動する払拭用ブラシ8を上箱9を介して装備すると共に上箱9においてふるいアミ5の下流端に対応する個所にふるい上物出口10を設け、更に上箱9の壁面に設けた吸風孔11を介して吸風し、この吸風をふるいアミ5の目および上記布袋製ふるい下物受7の目を介して下箱6の壁面に設けた排風孔12から排風するファン式風力装置13を下箱6内に設けたものである。

【0008】 尚、本発明においてぬか及び微粉末を95%～90%ぐらいまで除去して清浄米粒（白米）を得る部分は、ぬかと米粒を分離したのちの微粉末の付着している米（一般に販売されているような）を、ふるいアミの上に供給して微粉末を除去し、よって水洗いせずにそのまま炊くことのできる清浄米粒を得るような構成、すなわち家庭用精米器本体とは別に分離または単品構成として提供することも可能である。

【図面の簡単な説明】

【図1】 図は本発明に係わる家庭用精米器の実施例を示すものであって全体の一部切截正面図である。

【符号の説明】

- 1 ホッパ部
- 2 ダイヤル
- 3 本体
- 4 出口
- 5 ふるいアミ
- 6 下箱
- 7 ふるい下物受
- 8 払拭用ブラシ
- 9 上箱
- 10 出口
- 11 吸風孔
- 12 排風孔
- 13 風力装置
- 14 中釜
- 15 電動装置

【図1】

